

取組み(功績)の概要

「地域住民、事業者、行政が相互に創り出す持続可能な公共交通システム」

従来型の補助金制度を見直した新公共交通システムを確立。地域住民、事業者、行政が一体となり、バス交通ネットワークの再構築に取り組む。

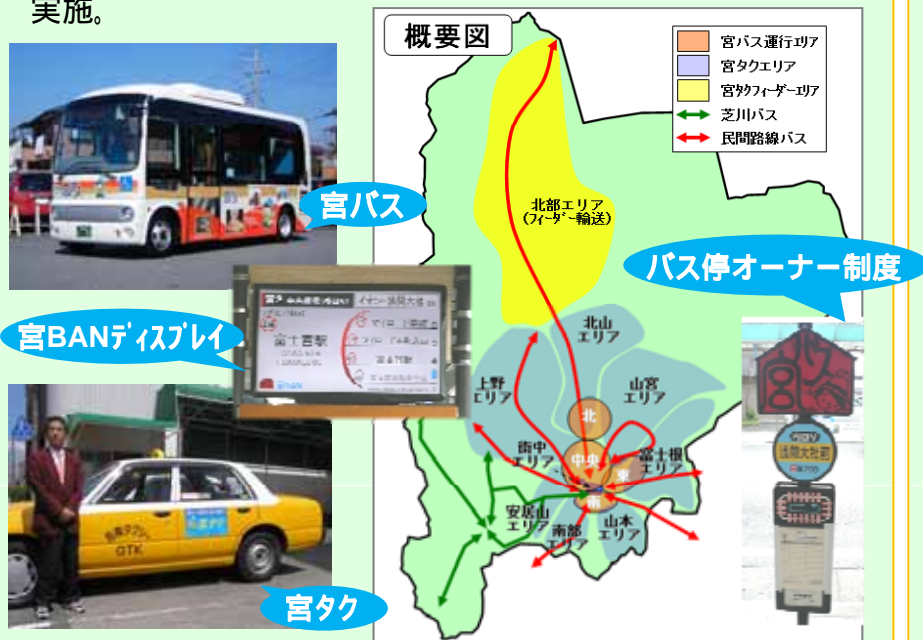
各事業を客観的に評価するため、事業評価指針を策定。事業ごとに目標値を設定し、持続可能な公共交通の実現を目指す。

モビリティ・マネジメント事業(のりもの祭、乗り物教室、小学生勉強会、PRDVD作成等)を実施。市民の公共交通への参画を促し、身近で利用しやすい公共交通の実現を図った。

事業内容

1. 新公共交通システム「宮バス」「芝川バス」「宮タク」を確立

- 「宮バス」では従来型の補助金制度を見直し、運賃収入以外の安定的収入を確保するため、「バス停オーナー制度」や「宮バスサポーター制度」を実施。
- 官学協同事業による、地域密着型バス案内「宮BAN」を導入。
- 「宮タク」では地域住民の生活交通の足を確保しながら、既存の民間バス、タクシーと共存するための差別化(飛び地運行)を実施。



2. 「富士宮市公共交通PDCA(事業評価)指針」を策定

- 連携計画に基づき、共通の指標で事業を評価・検証する「富士宮市公共交通PDCA(事業評価)指針」を策定。
- ワークショップを通じ、事業評価指針の市民向け周知活動を実施。
- 数値指針だけでなく、市民の満足度を評価指針を加えることにより、持続可能な公共交通実現を目指す。

平成24年度 目標値に対する総合評価

種別	数値評価	満足度評価	総合評価
宮バス 中央路線	B	A	BA (B+)
宮バス 東海路線	D	A	DA (D+)
宮バス 北線	E	A	EA (E)
宮バス シヤトル	E	A	EA (E)
芝川バス	C	C	CC (C)
宮タク山宮エリア	D	A	DA (D+)
宮タク山本エリア	C	A	CA (C+)
宮タク山宮山本エリア	B	A	BA (B+)

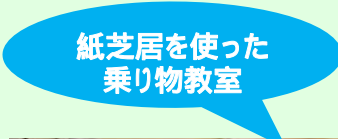
事業評価結果

3. 特徴的なモビリティ・マネジメント事業

- 紙芝居を使ったのりもの教室、保育園保育者アンケート、PRソング「走れ宮バス」「宮タク サンバ」のDVD作成、「宮バス」を使ったオリジナルおでかけプランの作成、ポスター・チラシの作成など、特徴的なモビリティ・マネジメント事業を展開。



「宮タク」のPRソングと振り付け



紙芝居を使った乗り物教室



写真入りカレンダー